

No.1 多発している乗用車、バス、バイク - 交通事故（道路）の死亡災害事例（2022年）

2022年発生月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	起因物 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
12	2 ～ 4	被災者は軽トラックで新聞配達中に、国道が合流する丁字路で、市道から右折しようとしたところ、走行してきた大型トラックと国道上で衝突し、病院へ搬送され、翌日死亡したものの。	080205	231	17	1～ 9
12	6 ～ 8	雪の日の早朝、新聞配達中の事故。道路上（配達ルートから推察して、おそらく下り坂）、バイク（カブ50CC）で転倒し、頭部を直撃した。意識不明の状態で行人により発見・通報、病院へ搬送される。	080205	231	17	30 ～ 49
12	14 ～ 16	年末年始の挨拶のため、宿泊先に車で移動中、高速道路の橋梁終了部で、運転中の車がスリップしたことにより対向車線（下り線）にはみ出し、助手席側が対向車と正面衝突し、助手席に同乗していた被災者が死亡したものの。	170209	231	17	100 ～ 299
12	8 ～ 10	法面工事現場付近の国道において、片側1車線道路の片側交互通行規制の交通誘導作業中、走行してきた軽トラックに激突された。	170201	231	17	30 ～ 49
12	14 ～ 16	被災者は、畑での作業を終え、社有車を運転し、事業場へ向けて道路上を走行していたところ、凍結路面でスリップして対向車線にはみ出し、同車線を走行してきた大型トラックと衝突したものの。	170209	231	17	1～ 9
12	18 ～ 20	車を駐車場に止め、国道を挟んで向かいにある事務所に行くため横断歩道を渡っていたところ、軽自動車に轢かれた。なお、ドライブレコーダーの記録では横断歩道側が青信号、車道側が赤信号であ	040301	231	17	30 ～ 49

		り、ブレーキ痕無し、とのこと。				
12	10 ～ 12	交差点手前100m付近で、被災者の運転するタクシー（空車）が直進中に、前方を走行中の路線バスに追突。タクシーを運転していた被災者が死亡したもの。	040201	231	17	100 ～ 299
11	4 ～ 6	原動機付自転車に乗車して朝刊を配達中、ガードレールのないカーブから飛び出し、1.35m下の田んぼに車両とともに転落していたところを近所の住民により発見され、搬送先の病院で死亡が確認された。	080205	231	17	10 ～ 29
11	14 ～ 16	被災者は、事業場が提供する原動機付自転車で、事業場を出発し、訪問医療マッサージの依頼先へ向かっていた。その移動途中で、交差点を右折する際に直進してきた普通自動車と衝突した。交差点の信号は双方青信号であった。被災者は、医療機関で治療を受けていたが、頭部外傷により亡くなった。	130201	231	17	1～ 9
11	16 ～ 18	リース会社からトラクターショベル4台を当該事業場の車両置場に移送させた後、翌日の作業準備のため、車両置場から資材置場の詰所へ徒歩で移動していたところ、後方から来た一般乗用車にはねられたもの。	170209	231	17	1～ 9
11	10 ～ 12	国道をバイクで走行中転倒し、被災者が道路左側へ投げ出されたところ、左側を走行していたトラックの右後輪に轢かれ、死亡したもの。	170201	231	17	10 ～ 29
11	4 ～ 6	被災者は、新聞の朝刊を第一種原動機付自転車（以下「バイク」という。）で配達する業務に従事していた。災害発生日、被災者は事業場を出発し、顧客宅へ順次配達中、信号機のない交差点を右折しようとしたところ、右前方角にあった民家と道路（幅4.6m）の間にあった水路（蓋等なく、開口面積が1m×4mで深さ0.7m、水深不明）にバイクごと突っ込んだ後、溺死したもの。	080205	231	17	30 ～ 49
11	4 ～	軽自動車に乗り新聞配達を行っていたところ、市道を走行中に信号機のない交差点で、乗用車と出会い頭に衝突し、頭部の損傷等で意	080205	231	17	30 ～

	6	識不明の状態となり、数日後に死亡した。				49
10	18 ～ 20	業務請負先事業場等から、従業員を自宅へ送迎中のマイクロバス（運転手含め18名乗車）が、信号のない交差点で、一方通行を逆走してきた乗用車に、車体後方の左側面に激突され、横転し、バスに乗っていた技能実習生が死亡した他、十数名が救急搬送されたものの。	010402	231	17	10 ～ 29
10	12 ～ 14	被災者は、一般道（環状通）を乗用車で走行中、反対車線にはみ出し、建築物に衝突して、外傷性ショックにより死亡したものの。	080109	231	17	1～ 9
9	4 ～ 6	被災者が運転していたタクシーが道路左側の信号機の支柱に激突した。	040201	231	17	10 ～ 29
9	8 ～ 10	高速道路を走行していた貨物自動車がスリップし、ガードレールに追突、車両が横転した。被災者は、助手席中央に座っていたが、貨物自動車横転時に車外へ投げ出され、道路に体を強く打ちつけられ、その後、死亡した。	040301	231	17	10 ～ 29
9	10 ～ 12	被災者は原付バイクを運転し、道路を南から北へ直進。衝突相手は乗用車を運転し道路を西から東へ直進したところ、信号のない交差点にて出会い頭に衝突したものの。	090101	231	17	10 ～ 29
9	18 ～ 20	バイクで寿司を配達中、片側一車線の信号機の無い丁字路を右折する際、右後方から車で衝突され、左側頭部を強打し、入院、数日後死亡した。	080209	231	17	10 ～ 29
9	4 ～ 6	被災者が原動機付自転車に乗って新聞配達中に、配達経路上で倒れていたところを、近隣住民に発見された。病院に救急搬送されたが死亡が確認された。死因は誤嚥性肺炎であるが、外傷性くも膜下出血等の負傷あり。なお、原動機付自転車には鹿と思われる動物の毛が付着していた。	080205	231	17	10 ～ 29

9	0 ～ 2	バイクによって新聞を配達中、四輪車と接触して転倒し、その後、転倒した場所が反対車線であったため、反対車線を直進していた貨物自動車に轢かれ、死亡した。	080205	231	17	10 ～ 29
9	14 ～ 16	電気設備保全業務契約先での作業を終えて、軽ワゴン車に一人で乗り帰社中、高速道路で単独事故により車が横転した。横転した際、肩から上が助手席の窓枠から飛び出し、路面と横転した車体との間に挟まれた状態であった（その場で死亡が確認された）。	170209	231	17	50 ～ 99
8	8 ～ 10	軽自動車事業場から作業現場へ向かう途中、県道片側一車線、左にカーブする道路を走行中、中型トラックと正面衝突し、胸を強打し、外傷性心臓大血管損傷により死亡した。	030201	231	17	10 ～ 29
8	4 ～ 6	労働者Aが軽自動車を運転し、新聞配達を行っていた際、何らかの理由で、交差点を左折してそのまま橋の欄干にブレーキなしで衝突、即死したもの。単独事故である。	080205	231	17	10 ～ 29
8	10 ～ 12	駅と空港を結ぶバスが、空港へ向かう途中で、高速道路出口付近の分離帯に衝突した後に横転し、炎上した。	040202	231	17	50 ～ 99
8	14 ～ 16	オフィスの2・3階の天井照明器具更新工事に入場した3名は14時頃に作業を終え、現場まで来た社用車に乗り事業場へ帰る際、国道のIC付近で単独事故を起こし、被災者は助手席から車外に投げ出され骨盤骨折による出血性ショックで死亡、運転者と後部座席の者（ともに電工）は休業14日と8日の軽傷を負った。	030203	231	17	1～ 9
8	12 ～ 14	客先での集塵機入替工事のため、1台のハイエースに4人が乗車して移動しているとき、高速道路を西方向に第1通行帯を走行中、スリップしてハンドルが取られ、道路左側のワイヤーロープに衝突した後、中央分離帯側のガードレールに衝突したもの。	011002	231	17	100 ～ 299
8	12 ～	電話工事に伴う誘導業務従事後、昼休憩のためにコンビニエンスストアへ原動機付自転車にて移動中、信号機のない交差点にて、軽自動車と出合い頭に衝突し、転倒した。3時間後に容体が急変、同日	170201	231	17	10 ～

	14	夜に死亡した。				29
8	12 ～ 14	被災者は、アパートの清掃や管理状況を確認しに行くため、軽ワゴン車を運転していた。被災者は、片側1車線の国道1C付近でセンターラインを超えて、トラックと正面衝突した。なお、衝突時に軽ワゴン車のキャリアに積んであった脚立がトラックのフロントガラスを突き破り、ガラスの破片により負傷し、トラックドライバーは休業1日となった。	080409	231	17	1～ 9
7	14 ～ 16	排気量90ccの普通自動二輪車で新聞配達を行っていた被災者が、被災当日の夕刊の配達中、団地付近にて、単独で転倒事故を起こし、頭部等を負傷した。帰宅後に自ら病院に向かい、1週間程度入院することとなったが、退院を間近に容体が急変し、後日、急性硬膜下血腫により死亡した。	080205	231	17	10 ～ 29
7	8 ～ 10	フランスにおいて、企業所属トライアスロン選手である被災者が、バイク練習中に対向車と接触し、死亡した。	080109	231	17	50 ～ 99
7	4 ～ 6	被災者は新聞配達業務を終え、原付きバイクを運転して販売店に戻る途中、市道交差点において乗用車と衝突して負傷した。その後、病院に搬送されたが、頭部損傷等により約1時間半後に死亡が確認された。	080205	231	17	10 ～ 29
7	0 ～ 2	被災者は道路上において、工事に伴う幅寄せ交通誘導業務に従事していたところ、道路上走行してきた一般車両にはねられ、頭部を負傷し死亡した。	170201	231	17	50 ～ 99
7	14 ～ 16	当署管内の工事現場に向かうため、旧自社工場に全員が集合し、積載型トラッククレーン（資材の積込を行う：当該リース車）と軽ワゴン車（私用車）の2台（各2名が乗車）にて出発した。1Cから高速道路を使用し、途中休憩と昼食を取りながら、トンネル内を走行中、軽ワゴン車がトンネル内の側壁に激突し、助手席に乗車して	030302	231	17	1～ 9

		いた1名が死亡し、運転手の1名が負傷した。				
7	4 ～ 6	市道において、被災者は新聞配達を終えて事務所へ戻るために軽乗 用車を運転していたところ、路外に逸脱して街路樹に衝突して死亡 もの。現場は信号機のない片側1車線の直線道路だった。	080205	231	17	30 ～ 49
6	0 ～ 2	被災者は客の車を運転代行し、市内中心部から片側1車線の直線道 路を西進中、何らかの理由で道路左側の縁石に接触して対向車線に 飛び出し、ガードパイプを突き破って用水に転落、運転席側を下に 横転した形になり、溺死したもの。	170209	231	17	10 ～ 29
6	12 ～ 14	客先へ向かうため、路側帯を歩いていたところ、普通貨物自動車に 後ろから衝突され、くも膜下出血により入院加療中であったが、同 日死亡したもの。	170209	231	17	100 ～ 299
6	8 ～ 10	パンを配送するため、朝、出発した。国道を走行していた際、被災 者の運転する車がセンターラインをはみ出していたため、反対車線 を通行していた車と衝突した。	080209	231	17	1～ 9
4	16 ～ 18	被災者が営業先から会社へ戻るため高速道路を運転中、前方で停車 していた車両に追突し、死亡したもの。	010501	231	17	10 ～ 29
4	6 ～ 8	配送先であるスーパーマーケットの前にある道路を挟んだ向かいの 駐車場にトラックを駐車し、被災者は信号及び横断歩道のない道路 を横切り荷物を運んでいたところ、スーパーマーケット前の歩道と 道路の境目付近で乗用車にはねられ死亡したもの。	040301	231	17	50 ～ 99
4	14 ～ 16	打合せ協議先から帰社途中乗用車を運転中、センターラインをはみ 出し大型車との正面衝突事故で死亡した。	030309	231	17	1～ 9
3	18 ～	被災者は、翌日から開始される工事のため、前泊予定地の宿泊施設 に向かって運転中、意識が朦朧となり路上に停止した。同乗してい た同僚が降車し、運転を交代しようとしたところ、突然車が発進し	030309	231	17	10 ～

	20	た。他の車両を巻き込みながら、約700m蛇行して中央分離帯、左側壁に衝突した。事故後、意識不明の状態 で病院に運ばれたが、外傷性出血性ショックにより数時間後に死亡したもの。					29
3	4 ～ 6	被災者が新聞配達業務のため、片側1車線の県道上を自転車に乗って走行していたところ、後方から走行してきた軽自動車に追突された。	080205	231	17	～	30 49
3	2 ～ 4	被災者は、新聞配達のため、バイクで一般道を走行中、強風にあおられて転倒した。	080205	231	17	～	10 29
3	12 ～ 14	被災者は、最大積載量7tのトラックで、所属事業場の車庫を出発し、配送先に向うため、高速道路を走行していたところ、前方車両が急制動したため、被災者も急制動してハンドルを左に切ったが間に合わず、当該車両に追突し、運転席に挟まれ両足を骨折したことから、病院に搬送された。後日、出血性ショックにより死亡した。	040301	231	17	～	10 29
3	6 ～ 8	被災者は、災害発生日当日の朝、建設工事現場に向かうため、事務所兼自宅を自家用車で出発し、県道を走行していたところ、反対車線にはみ出し、反対車線を走行していた中型貨物自動車と正面衝突した。当初意識不明の重体で治療を継続していたが、後日死亡した。	030201	231	17	～	30 49
3	10 ～ 12	被災者は、普通乗用車（被災者所有の普通乗用車）を運転中、対向車線に進入し、対向してきた大型トラックと衝突したもの。被災者は普段から自身が所有する普通乗用車を業務に使用しており、また、災害発生当日、社用車は別の業務で使用されていた。	010899	231	17	1～	9
2	14 ～ 16	片側一車線の国道を軽自動車で行中、対向してきたミキサー車と正面衝突した。（被災者は病院に搬送されたが、約1時間30分後に死亡が確認された。）	030106	231	17	～	50 99
2	10 ～	軽自動車（社用車）で営業先へ向かう途中、トンネル内で、被災者が運転する車が対向車線へはみ出し、対向車線を走行していた乗用	080209	231	17	～	10

	12	車と正面衝突し、外傷性くも膜下出血により死亡したものの。				29
2	18 ～ 20	再処理事業所での作業を終えて帰宅するため同僚が運転する乗用車に被災者ほか2名の労働者が同乗し、市道を時速50キロメートルで走行中、轍にハンドルを取られて車両がスリップし、防雪柵に衝突した。その際、後部座席に座っていた被災者が車両の窓から車外に投げ出されて頭部を防雪柵にぶつけて死亡した。	030199	231	17	10 ～ 29
2	12 ～ 14	産業廃棄物の収集運搬業務に従事する被災者が、被災当日の収集運搬業務を終え、事業場所在地から離れた位置にある（直線距離で約624m）駐車場に収集運搬車を駐車した後、事業場事務所に戻るため、自転車で県道の進行方向右側を北西方向に走行し、国道に交わる交差点に青信号で侵入したところ、県道を南東方向に走行し、交差点で国道に左折した普通乗用車と衝突し、多発外傷により死亡	150102	231	17	1～ 9
2	8 ～ 10	被災者は通勤送迎用の車の最後部左端座席に座っていたが、交差点右折時に横断する歩行者に気づいたドライバーがブレーキをかけたため、車体が揺れた。被災者はシートベルト未着用のため、前のめりに顔面から倒れ床等に顔面及び頭部を打ち付けた。同乗者が声を掛けるなどしても動かなくなったため、救急搬送されたもの。	130101	231	17	300 ～ 499
2	0 ～ 2	被災者は、交差点で血を流して倒れているところを付近を通りかかったタクシーの運転手に発見されたもの。発見後、医療機関に搬送されたものの、1時間後に死亡した。被災者は社有のオートバイに乗り新聞配達業務に従事しており、災害発生場所の50m先に当該オートバイが倒れ、さらに150m先にへこみのある乗用車が放置されていた。	080205	231	17	10 ～ 29
2	0 ～ 2	タクシー乗務員である被災者が、乗客なしで下り坂を走行中に中央分離帯に激突、その後ガードレールに再激突し死亡したものの。	040201	231	17	30 ～ 49
1	10 ～	他店舗に商品を配送するため軽自動車を運転し、国道を走行してい	080209	231	17	10 ～

	12	たところ、センターラインをはみ出して対向車と衝突したものの。				29
1	4 ～ 6	バイクにて新聞配達中に後続車に追突され、その勢いで反対車線に飛ばされ、対向車と正面衝突したものの。	080205	231	17	10 ～ 29
1	12 ～ 14	介護サービス利用者宅から次の利用者宅へ自転車で移動中、対向車線のワゴン車が脇見運転により緩い左カーブでセンターラインを越えてきて、道路脇を走る被災者の自転車をはねた。被災者は全身を打ち死亡。	130201	231	17	30 ～ 49
1	22 ～ 24	被災者は、国道の中央分離帯に茂った樹木の剪定作業に伴う交通誘導業務に従事し、剪定箇所から約600m手前（トンネル坑口付近）で、車線規制の予告案内（旗振り）を行っていた。作業開始の当初は中央分離帯内で案内を行っていたが、しばらくして車道の中央部に出て案内するようになり、国道を走行中の乗用車にはねられて死亡したものの。	170201	231	17	30 ～ 49
1	8 ～ 10	工場に納品を終えた大型トラックを誘導するため、被災者が道路を渡り、誘導を終えた後工場に戻ろうと道路を渡る途中で、右側から走行してきた前方不注意の乗用車に引かれて頭部を強く打ち、救急車で病院に搬送されるも死亡した。	010805	231	17	30 ～ 49
1	4 ～ 6	新聞配達中の被災者が、オートバイで国道を直進していたところ、交差点の手前で転倒して滑り、町道から右折中のトラックの右後輪と接触し、1週間後に死亡したものの。	080205	231	17	10 ～ 29
1	14 ～ 16	被災者は事業場から客先（病院関係）へ機械のメンテナンス等のため、事業場所有の車を運転し、昼頃に出発した。高速道路を走行中に、何らかの原因により運転していた車が横転し、被災者は頭などを強く打って病院へ搬送されたが、死亡したものの。事故当時、路面は一部がシャーベット状であった。	030309	231	17	1～ 9
		事業場は八百屋で商品の市内無料配達を行っている。配達員である				

1	14 ～ 16	被災者は、配達のため原付を運転中、看板のある交差点（信号のある十字路交差点）を直進しているとき、対向車線から右折してきた普通乗用車と接触し転倒した。頭部打撲によるくも膜下出血・硬膜下血腫・脳挫傷により死亡した。	080209	231	17	10 ～ 29
---	---------------	---	--------	-----	----	---------------

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html>(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_03.html